

## 第 59 回冷凍技士研修会

# 2024年度年次大会 冷凍技士セミナー



主 催：公益社団法人日本冷凍空調学会 冷凍技士運営委員会  
共 催：公益社団法人日本冷凍空調学会 年次大会 2024 実行委員会  
日 時：2024 年 9 月 5 日（木） 13：30～15：30  
場 所：九州産業大学（福岡県福岡市東区松香台 2-3-1）

年次大会会期中の恒例企画であった「冷凍技士セミナー」を 7 年ぶりに開催いたします。今回は、バラエティに富んだ 3 名の講演者をお招きいたしました。

最初は国内トップクラスの食品工学研究者である東京家政大学 鍋谷先生より、産学連携における公立試験研究機関の役割をテーマにご講演をいただきます。続いて開催地の福岡市に次ぐ九州第二の都市である北九州市に本社を置く（株）安川電機より、食品市場におけるロボット活用事例をテーマに、最後に船舶用を始めとして様々な冷凍・冷蔵装置を手掛ける日新興業（株）より、漁船の冷凍設備をテーマにご講演をいただきます。

本セミナーは、年次大会参加登録者はどなたでも参加可能となっております。ふるってご参加いただけますようご案内申し上げます。

	講演テーマ	講演者	講演時間
1	産学連携における 公立試験研究機関の役割	東京家政大学 家政学部栄養学科 教授 鍋谷 浩志	13：30～14：15
2	食品市場における ロボット活用事例	株式会社安川電機 廣田 博康	14：15～15：00
3	漁船の冷凍設備	日新興業株式会社 宇野 光世	15：00～15：30

募集対象：2024 年度年次大会参加登録者（参加登録予定者を含む）

CPDポイント 2

募集人員：30名（定員になり次第締め切ります。）

申込期限：8月28日（水）

<開催結果>

参加人数：14名

結果概要：1. 前職の農研機構／食品総合研究所時代の主要研究テーマであった膜分離技術を例に、多くの民間企業と共同開発に取り組んだ経験をご紹介いただきました。「魔の川・死の谷・ダーウィンの海を越えるお手伝い」が公的試験研究機関の役割であるとの信条の元、学問の探求のみならず、産業に活かすための技術研究としての取組みに感銘を受けました。

2. 多くの食品工場で労働力となり始めたロボットの活用事例をご紹介いただきました。低温環境では潤滑剤等の適合温度域外となるため、冷凍食品工場への対応は今暫く時間がかかるとのことでしたが、ロボットを受け入れてもらいやすくするための営業活動や安全面・衛生面に配慮したロボットの開発など、企業姿勢も大変勉強になりました。（株前川製作所 金 まどか）

3. 船舶の冷凍装置は陸上に設置されたものと比較すると、広い海域を移動するために気温等の環境が大きく変わる、船舶の揺れや傾き、塩害、その他、さまざまな特殊性があることをご説明いただきました。また、圧縮機は予備機が接続されて冗長化されていること、凍結室は管棚式凍結装置が採用されていることなどもご説明いただきました。なかなか聞きすることのない内容で、大変文教になりました。（三菱電機ビルソリューションズ 榎門井 隆治）